

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		百貨店(売場担当)	・4月のリニューアルオープンに当たり、ブランドの編成等、いろいろと手を入れている。新しい客を囲い込むための準備もしているので、4月以降、一時的には良くなっていく。ただ、長くは続かないのではないかと。
		コンビニ(経営者) その他サービス[葬祭業](経営者)	・夏に向けて、人の出入りが多くなる。 ・葬儀の相談に来た人は、その後何年かたってから依頼が来るケースはまれで、大概は数日から数週間後といった感じである。高齢者が多くなってきて、季節は余り関係なくなってきたようである。
		商店街(代表者)	・新学期の販売が2月から始まる。今のところは例年どおりの注文数が来ているので、今までよりは良くなる。
		一般小売店[家電](経営者)	・春に向かって、今月より少しは良くなるのではないかと期待も込めている。
		スーパー(経営者)	・2月は大きな仕事はないが、3月末には近くでコンサートがあるので、仕事が入る予定である。他にもまだ決定ではないが、2件、毎日、病院への弁当注文のオファーが来ている。12月末から1月末までの期間限定で、被災したりハビリテーションセンターの病院食の野菜を納品している。朝早く用意をするのは大変だが、1回の納品が5千円~1万円の間なので、慣れてきたこともあり、できればずっと受注したい。
		コンビニ(経営者)	・春先になると、徐々に暖かくなり、来客数も増えてきて、売上が若干伸びる。
		乗用車販売店(経営者)	・サポカー補助金が、安全性能の高い新型車の販売を後押しすると期待されるため、やや良くなる。
		自動車備品販売店(従業員)	・今年は降雪もなく暖冬で、春商戦が早まることが見込まれ、予約の獲得が始まってきている。
		高級レストラン(経営者)	・この先は歓送迎会の季節にもなるため、人の動きも顕著に良くなる見通しがある。現在よりは良くなる。
		一般レストラン(経営者)	・3か月前は台風被害の影響が一番出ていた11月だが、現状、変わらないかそれより悪いのではないかと感じさせている。小さな田舎町では同業者が次々と店を閉め始めている。これより悪くならない方向にもっていきたい。
		タクシー運転手	・2月からはタクシー料金が改定される。今まで迎車料金を設定していなかったが、1回200円をもらうようになるので、2月からはかなり期待したい。
		通信会社(社員)	・引っ越しシーズンを迎え、新規獲得が増える時期のため、やや良くなる。
		遊園地(職員)	・今後も各種イベントなどの集客施策の実施により、引き続き、多くの客の来場を期待する。
		一般小売店[家電](経営者)	・商材の季節感もなくなり、新生活関連商材も備付けの住居が多くなってきていて、動きが少ない。買換えの動きだけでは、先行きは厳しい。消費者の購買意欲が出てこない現状で、良くなる要素は見当たらない。
		百貨店(営業担当)	・消費税増税による影響も3か月たって、薄まってきているので、これからも現状維持程度には推移していく。
		百貨店(店長)	・そもそも消費税増税前も景気が良かったわけではないので、低迷が続いている感じである。現状からみて、景気が上向くとは思えない。
		スーパー(経営者)	・暖冬少雪の影響が、米や野菜等の作付けにどう影響するか不安である。
		コンビニ(エリア担当)	・悪くなることも予想されるが、東京オリンピックなど景気上昇となるイベントもあるので、現状維持と考える。
		コンビニ(店長)	・軽減税率、キャッシュレスポイント還元などで、一時は良かったが、ピーク時間帯の、当店の得意分野の弁当などは、中食の税率の関係で、購入し持ち帰って車内で食べるという形になると、駐車場のキャパシティ以上の売上は望めない状況になってきている。今後はますますこの状況が強くなり、良くならない。今のペースが変わらないような気がする。
		衣料品専門店(経営者)	・仕入、工賃、必要経費等、全てが上昇しているものの、販売価格は抑え気味で、利益が出ない。
	家電量販店(店長)	・暖冬の影響で、季節商材の販売不振に変わりがない。	
	一般レストラン(経営者)	・キャッシュレス決済利用客は増えているものの、常連客の動きが悪い。	

	スナック（経営者）	・本当は悪くなるような気もするが、これ以上悪くならないようにということでの回答である。先が全然読めない。東京オリンピックで騒いでいるのは都会だけだと思うが、何か良い案があれば教えてほしい。
	スナック（経営者）	・今年は年明けに、新年会の予約すらほとんど入らない状況で、企業も新年会をやらない傾向にあるようである。2～3か月先の新入社員歓迎会なども、大きな期待はできそうにないので、これからも厳しい状況が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・悪い状況から変わらない。全体的な停滞感は継続しており、これが突然回復傾向に転じる要素も見当たらない。先の予約状況も増加していないので、東京オリンピック近くまでは、同様の状況が続くのではないかと。
	通信会社（経営者）	・台風19号の被害の影響は、かなり少なくなったとはいえ、まだ処理の終わっていない事柄等も多く、放送や通信への関心は低い。
	住宅販売会社（経営者）	・貸地の地代延滞者が増加傾向にある。
	スーパー（経営者）	・消費マインドの上昇傾向はみられない。
	スーパー（副店長）	・今年は経験したことがないほどの暖冬で、本来掛かるはずの灯油代やガソリン代が節約できて、生活しやすく、スーパーの売上も5%程度、上振れしている。ただし、スキー場の観光収入や、工業者の雪かきによる収入が大幅に減っているため、2～3か月先は少し落ち込むと予想する。
	スナック（経営者）	・11月くらいから、どんどん悪くなっている。消費税増税と台風19号による水害の影響だとみている。一時期、復興関連の人たちが来て、お金を落としてくれていたが、終わったようで、このまま、ずるずると落ちていくような気がして、不安である。
	観光型旅館（経営者）	・今年の春節は、前年より海外からの予約が少ない。当館は香港からのインバウンドが多いが、香港情勢からもインバウンドの需要が下がるのではないかとみている。
	都市型ホテル（支配人）	・駅近くに2軒のチェーンホテルの建設が始まり、今後さらに客の取り合いと価格競争が増すとみている。
	旅行代理店（副支店長）	・台風19号の影響や貿易摩擦の長期化、さらに新型コロナウイルスにより、海外は元より、国内も今後の動向次第で旅行減少が懸念される。風評被害も発生するとみている。良くなる材料は少なく、経済にも影響を与えかねない。実際に、旅行見合せの商談が多くなってきている。
	観光名所（職員）	・暖冬が及ぼす地域経済への影響を懸念している。冬はある程度寒くなって降雪がないと、スキー場や関連施設は元より、寒い時期に仕込む地域の特産品が作れないなど、様々な業種に影響が及ぶ。
	ゴルフ場（経営者）	・第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の反動による冷え込みが心配である。
	その他レジャー施設「ボウリング場」（経営者）	・新型コロナウイルス等で、外出を控える傾向になると厳しい状況となる。
	設計事務所（経営者）	・依頼数はやや減少してきており、落ち着いてきている。
	x 商店街（代表者）	・台風19号による被害、消費税増税、異常暖冬による雪不足、新型コロナウイルス感染騒ぎ、これほどのマイナス要因続きは想定外である。
	x 都市型ホテル（スタッフ）	・やはり新型コロナウイルスの影響は非常に大きい。海外からの客、特に中国の団体客がキャンセルとなっている影響で客足が非常に鈍るのではないかと予想する。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-
	食料品製造業（総務担当）	・商品売価の低価格化や原材料の値上がり予想等、マイナス材料はあるものの、新製品投入等でこ入れし、売上が良化する見込みである。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品と、東京オリンピック関連商材の受注が見込まれるため、期待している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・東京オリンピックも近づき、地方ではあるが、多少の恩恵があるのではないかと。
	電気機械器具製造業（経営者）	・身の回りでも、受注が減少傾向にあると聞く。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・3か月くらいの生産量は確保されているものの、その先の見通しが不透明になってきている。
	建設業（経営者）	・新年度に入っても受注状況は変わらないと思うが、物価上昇により、景気の元となる利益確保が難しい。

	金融業（調査担当）	・製造業は米中通商協議の第一段階の合意を好感し、先行きの景況感はやや改善する見通しである。非製造業はスキーシーズンに入り、雪不足のほか、新型コロナウイルスの拡大による観光面への影響が懸念される。	
	食料品製造業（営業統括）	・いまだに消費税増税の影響から回復していない上、新型コロナウイルスが今後どうなるか全く見通しがつかないので、不安な状況である。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内の受注に大きな変化はないが、海外向け、特に中国向けが不透明な状況である。	
	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスによる感染拡大が続いており、海外からの観光客が減少する。特に、ホテル事業などは当面厳しい状況が続く。	
	×	食料品製造業（製造担当）	・暖冬の影響で、季節商材の食品が動かない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・地金の高騰が、金だけでなくプラチナにも及んでいるため、前年受注したカタログ商材はほとんど利益が出ない。国内バイヤーは新製品を提案しても、価格の高騰についていけないのが現状である。また、通常2月には、中国人バイヤーへの販売が期待できる3月の海外展示会用の商材作りに取り掛かるが、中国の新型コロナウイルスの影響や香港のデモが今後どうなるかに不安が残り、商品作りは控えざるを得ない。
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・働き方改革による残業減もあり、収入が減るなかで購買意欲は湧かない。貯め込むどころか収入がないので、閉店を検討している企業も多い。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・人手不足ではあるものの、しばらく求人広告数は減少傾向が予想される。
		職業安定所（職員）	・当所管内の主要産業、特に、大企業は、受注案件が減少しているものの、3月までは確保しており、今年度はしのげるというコメントは多い。しかし、中小企業を中心に倒産が発生し、生産量も著しく減少しているとのことで、全体としてはマイナス基調が上回っている。
		職業安定所（職員）	・全体的に数字が落ちており、良い材料が見当たらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・米中貿易摩擦の将来不安に加え、今回の新型コロナウイルス問題で、経済の停滞が容易に予測できるため、製造業は一層慎重な姿勢を明確にしている。
	×	-	-